

令和5年度石川県国際化推進委員会 会議録

○開催日時 令和5年11月27日10時30分～12時00分

○場 所 石川県庁行政庁舎

○出席者 委員:9名、事務局:観光戦略推進部長ほか4名

○議 題 石川県国際化推進プランの取組状況等について
石川県成長戦略について
「石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査」の結果について

○委員からの主な意見等

- ・生活に関する情報は市役所などから多言語で情報提供がされてはいるが、外国人住民にはなかなか届かない。日本語ができない方は、特にどうしたら良いのかわからない。
ここに聞けば全て分かるというような、システムができると良い。
- ・外国人居住者の困っていることの Q&A みたいなものが、多言語で対応できると良い。
- ・困ったときに質問ができる関係性を作るためには、面と向かって会って話すことも重要。
ここに行けば、誰かに相談できるというような場を少しずつ増やしたい。
- ・コロナ禍で生まれた SNS ネットワークがとても機能している。在日期间が長くなった人が呼びかけて、言語ごとのネットワークを作っており、集まって交流したりすることで、地域で安心して話せ、相談できる仲間ができています。
- ・外国で外国人として暮らすと、生活に関する情報の入手は大変で、出身国のコミュニティからいろんな情報を得ていくことが有効であり、外国人コミュニティリーダーの役割は大切。
- ・外国人コミュニティリーダーの中で中心となるような方から、国際化推進委員会のような場で意見を吸い上げるようなことがビジョンとして出てくるとよい。
- ・コミュニケーションの問題への対応については、地域、企業、行政とが一体となり、一つ一つ解決していく必要がある。
- ・小松市の集中豪雨の際に、LINE による多言語での情報発信が大変役に立った。パニックの際には自分たちの母語での情報発信があるのはとても良かったという感想があった。
- ・家族を連れて来日してくるケースが多く、学校の問題が大きくなっている。その時々で対応をしているので、ある程度ガイドラインを作って機能的に動けるようにできると良い。
- ・車の免許取得に関して、自動車学校では、ある程度の日本語ができないと受け付けてもらえない。学科の部分で、翻訳されたテキストがあれば良い。